



明峰

令和7年9月1日

第11号

校長 岡野利男

※今日から9月です。気象学上では、秋の始まりなのですが…。今日は曇り空でしたが蒸し暑かった。汗だくで登校する子供たちを見て、「えらい」と心から思いました。いつまでこの暑さは続くのでしょうか…。

－ 2学期をすすむ －

○人が困っているときは進んで助けていますか。
○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

これらは、全国学力・学習状況調査(中学3年生対象)における生徒質問調査中の質問項目です。同調査が始まった平成19年以降、長崎県の子供たちは、この3つの質問について、全国平均を下回ったことはありません。私は、このことを宝物のように思っています。「国語や算数・数学が、少しくらい全国平均を下回っていても、この3つの質問調査の項目が全国平均を上回っていることを誇りに思いたい。長崎県の子供たちのなんと立派なことか。」と様々な場で伝えてきた次第です。

夏休み中の7月31日、今年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。ちょうど1か月前のことではありますが、報道等、ご記憶にあられる保護者の方も多いかと思います。明峰中学校長として一番先に確認したのは、上述3項目における本校3年生の状況でした。結果は次のとおり。

質問項目	明峰中	長崎県	全国
人が困っているときは進んで助けて…	95.2%	91.9%	90.9%
いじめは、どんな理由があっても…	97.0%	97.0%	95.9%
人の役に立つ人間になりたい…	98.0%	97.7%	96.6%

こうして、客観的に数値で示されれば、本校3年生のすばらしさを改めて実感するものです。今年も全国平均を上回った長崎の子供たち。その県平均をさらに超えるわが校3年生諸君。嬉しいことです。「誰が3年生で誰が1年生か見間違えられるほどの素直さ、明るさ、無邪気さを大切に。」4月、私が最初に3年生諸君におくった言葉です。どうぞこのまま、優しくさわやかな学年集団であり続けてほしいと思います。

その一方で、気になる結果も見られました。 ➤

質問項目	明峰中	長崎県	全国
自分にはよいところが あると思いますか。	82.6%	87.9%	86.2%

2割の人は謙虚過ぎるのかもしれないし、自己評価が厳しいのかもしれない。ただ、これを捉えて3年生が2学期をすすむ上での課題を考えました。

自分の良さや可能性の(再)認識に努めること

そのうえで、自分探しの旅の大きな分岐点である「中学校卒業」に臨んでほしいと思います。保護者の皆様、伴走者としての支え、よろしくお願いします。

2年生は、偉大な先輩のバトンを受け取る時期となります。既に世代交代となった部活動のみならず、学校生活のすべてのリーダーとなる時期です。

人の役に立つ人間となることを目指すこと

これを2年生集団が2学期をすすむうえでの課題とします。己の力を世のため、人のために使おうとすることを「志」という。新たな仕事・新たな立場に挑戦し、人の役に立とうとする志を立ててほしいのです。2学期、学校のリーダーとなるお子様たちへ、ご家庭でも励ましをお願いします。

1年生は、中学校生活への「慣れ」のときが終わり、次のステージに向かう時です。集団の一員としての在り方を考えながら、2学期をすすんでほしい。

困っている人を見かけたら、行動すること

学校だよりの第10号でも書いたとおり、誰かの真面目さを、つまずきを、こだわりを、一生懸命を、揶揄することも嘲笑することもなく、尊重し認めること。困っている人の存在を、見て見ぬふりする人ではならぬこと、ご家庭でも話し合っただけでいいと思います。

そして、明峰中学校全生徒に対する、2学期の課題は、**生徒同士の相互承認**。一人一人の生徒が一人一人の生徒を大切にすることを求めます。

それでは、2学期も明峰中学校の教育活動へのお力添え、どうぞよろしくお願いします。